

企業の社会的責任(CSR)への取り組み

大阪ガスグループは、企業の社会的責任を全うするための役員及び従業員の行動の指針として、2006年4月に「大阪ガスグループCSR憲章」を定めました。社長のもと、役員などがCSRに関する活動計画及び活動報告の審議を行う「CSR推進会議」、大阪ガスグループのCSR活動を統括する役員「CSR統括」のもと、組織長が委員となり組織横断的な調整・推進を行う「CSR委員会」を設置し、適切かつ積極的な活動の実践に努めています。社会的責任を果たすため、当社は、2007年6月に国連グローバル・コンパクトに日本の公益企業として初めて参加しました。また2010年4月には、国連・責任投資原則(PRI)を支持する投資家たちから「Leaders」に選ばれています。

大阪ガスグループCSR憲章

大阪ガスグループは、お客さま価値の最大化を第一に、公正で透明な事業活動を通じて、株主さま、社会、従業員などの全てのステークホルダーの価値とともに高めていく「価値創造の経営」を基本理念としており、この価値創造の経営を実現することが、大阪ガスグループのCSR(社会的責任)を全うすることと考えています。

企業の社会的責任を全うし、大阪ガスグループが持続的な発展を図っていくため、「大阪ガスグループCSR憲章」を定め、大阪ガスグループの役員及び従業員の行動の指針としています。

経営トップをはじめとする各組織の責任者は、本憲章の趣旨を体し、率先垂範に努めます。また、法令違反などの問題が発生したときは、経営トップをはじめとする各組織の責任者は自ら問題解決にあたり、厳正に対処します。

I.
お客さま価値の創造

II.
環境との調和と持続可能な社会への貢献

III.
社会とのコミュニケーションと社会貢献

IV.
コンプライアンスの推進と人権の尊重

V.
人間成長を目指した企業経営

コンプライアンス

当社は、企業としての社会的責任を果たすためには、その基盤であるコンプライアンスの徹底を図ることが何よりも大切であると認識しています。この考えのもと、2000年に「大阪ガスグループ企業行動基準」を定め、当社の役員・従業員はもとより関係会社の役員・従業員を含めた大阪ガスグループの全員に対し、研修や啓発を通じて法令などの周知、遵守の徹底を図っています。また、推進体制としては、CSR委員会のもとにコンプライアンス部会を設置し、推進の専任部署としてコンプライアンス部及び社内外からの通報・相談窓口であるコンプライアンス・デスクを設置しています。これらの体制のもと、「法令・規程類を知る」、「守る風土・違反を起こさない仕組みを構築する」、「監視・モニタリングを強化・充実する」の3つの活動を重点的に推進し、グループ内へのコンプライアンスの一層の浸透と「体質化」を目指しています。

大阪ガスグループ企業行動基準

- はじめに
1. 人権の尊重
 2. 安心して働ける職場づくり
 3. 法令等の遵守
 4. 公私のけじめ
 5. 各国・地域の法令、人権に関するものを含む各種の国際規範の尊重
 6. 環境保全への配慮
 7. 独占禁止法の遵守および公正な取引の実施
 8. 商品・サービスの提供
 9. 商品・サービスの安全性の確保
 10. お客さまとの対応
 11. 社会への貢献
 12. 関係先・取引先との交際
 13. 取引先への理解促進、協力の要請
 14. 情報・システムの取扱い
 15. 情報の公開
 16. 知的財産の取扱い
 17. 反社会的勢力との関係遮断、利益供与の禁止
 18. 適正な納税と経理処理

(2011年7月改定)

環境への取り組み

大阪ガスグループでは、都市ガス製造所でのLNG冷熱利用などによるCO₂排出量の削減や、自社ビルの省エネルギー活動「グリーンガスビル推進活動」を実施するなど、事業活動における環境負荷の低減に努めています。当社では、部門ごとに取得してきた7つの環境マネジメントシステムをまとめて2007年12月にISO14001の全社統合認証を取得し、一体となった環境経営を推進しています。さらに、全ての国内関係会社で環境マネジメントシステムを導入・運用しています(2011年3月末現在86社)。

当社は、国のエネルギー政策の方向性に沿った天然ガスの普及をはじめ、コージェネレーションシステムやガス空調システムなどの高効率機器・システムの普及促進を図るとともに、設備導入時のお客さま負担を軽くするファイナンススキームをご用意するなどし、さまざまな商品・サービスを提供して、CO₂排出量を削減するなどお客さま先での環境負荷の軽減にも積極的に取り組んでいます。

大阪ガスグループでは、2010年4月に「大阪ガスグループ生物多様性方針」を発表しました。これに基づき、事業活動が生態系に及ぼす影響の把握と持続可能な資源の利用に努めるとともに、周辺の自然とのネットワーク形成を目指した事業所の緑化、希少種保全の場としての製造所緑地の活用、古典文学に登場する植物をテーマにした保有物件の植栽など、行政・研究機関などの助言を得ながら取り組みを進めています。

また当社は、環境パフォーマンス・データの積極的な公表にも注力しており、2010年10月、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクトにおいて、気候変動関連情報の開示が進んでいる企業として国内電力・ガス部門で最高のスコアを獲得しました。

地域及び国際社会への貢献活動

当社は、地域の皆さまの生活に密着した事業を展開するとともに、主な原料である天然ガスを介して、東南アジア・オセアニア地域を中心とした国際社会との太い絆を形成しています。

大阪ガスグループの企業ボランティア活動「^{ともじり}小さな灯」運動は、2011年に30周年を迎えます。今後とも「従業員一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」と、地道ながらも継続的な社会貢献活動を実施していきます。また、大阪ガスグループ内の連携を図り、事業を通じて蓄積された人材やノウハウを活かして、「エネルギー環境教育」や「食育」のほか、スポーツクラブ「NOBY TRACK&FIELD CLUB*」など、次世代育成を支援する「エネルギーギッシュキッズ」プロジェクトを推進しています。さらに、(株)オーガス総研を中心にグループ内外の企業と連携しながら、省資源の実現、障がい者の就労機会拡大、情報格差の解消に貢献できるパソコンリサイクル事業「はじまるくん®」に取り組んでいます。

このほか、(公財)大阪ガスグループ福祉財団は、活力あふれる長寿社会実現への寄与を目的とした福祉活動及び研究・調査への助成事業と、高齢者の健康の維持・増進を目的とした健康事業を推進しています。また(公財)大阪ガス国際交流財団は、南東アジア・大洋州地域の天然ガス産出国との国際相互理解の促進を目的に、助成事業を実施しています。この二つの財団は、内閣総理大臣の認定を受けて2010年10月1日付けで公益財団法人に移行し、新たにスタートしています。

*「NOBY TRACK&FIELD CLUB」は、大阪ガス陸上部コーチの朝原宣治が主宰するスポーツクラブです。

SRIインデックスへの組み入れ状況

2011年3月末時点で、当社は以下のSRI(社会的責任投資)関連インデックスに採用されています。

- Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index
- FTSE4Good Index Series
- ECPI Ethical Index Global (E.Capital Partners Indices)
- Ethibel Sustainability Index
- KLD Global Climate 100 Index (KLD Research & Analytics)
- モーニングスター社会的責任投資株価指数

(参考)大阪ガスグループのCSRに関する主な評価

媒体	当社の評価
国連「責任投資原則(PRI)」を代表する投資家グループ(2010年4月)	国連グローバル・コンパクト活動報告「Leaders」に選定(世界44社の1つ)
カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(2010年10月)	気候変動関連情報開示先進企業電力・ガス部門1位
日経環境経営度調査(2010年12月)	電力・ガス部門1位
東洋経済新報社「CSR総合ランキング」(2011年2月)	35位(1,132社中)